

SOLVE for SDGs

JST戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)

SDGsの達成に向けた 共創的研究開発プログラム

2015年に国連総会で採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」では、人類が直面する貧困、飢餓、不平等、自然災害や環境問題などへの早急な取り組みの必要性がかけられ、その実現に向けて科学技術イノベーションが重要な役割を果たしていることが示されています。

2030アジェンダには、「誰一人取り残さない」という基本理念のもと、17の持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)が示されています。

本プログラムでは、このSDGsの達成に向けて、社会課題に取り組む当事者と技術シーズを活用したい研究者が一緒になって進めるプロジェクトの提案を「シナリオ創出フェーズ」「ソリューション創出フェーズ」の2段階に分けて公募し、科学技術イノベーションを手段とした社会課題の解決策創出をめざします。



シナリオ創出フェーズ

対話・協働を通じてボトルネックを分析、明確化

具体的な社会課題に取り組むために、対話・協働を通じて地域における社会課題の特徴を抽出してボトルネックを分析・明確化するフェーズです。課題を解決する新たな社会システムを想定し、社会において可能性試験を実施して、2030年までに他地域にも展開してSDGsを達成していくシナリオを創出します。

原則2年間、800万円程度/年



ソリューション創出フェーズ

研究開発・実証試験を経て有効性を示し、道筋を照らす

シナリオに基づき研究開発を行い、地域での実証試験を経て課題解決策の有効性を示すとともに、他地域に展開するための適用可能条件や環境設定も明らかにするフェーズです。並行して、研究開発プロジェクト終了後の事業計画の策定やその実行準備を行います。

原則3年間、3,000万円程度/年



<https://www.jst.go.jp/ristex/solve/index.html>

@SOLVE_JST #solveforsdgs

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

JST 国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

RISTEX 社会技術研究開発センター / 「科学と社会」推進部

SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム(SOLVE for SDGs) 令和元年度 採択プロジェクト一覧



シナリオ創出フェーズ



| プロジェクト名 | 研究代表者 [氏名] | 研究代表者[所属・役職] | 協働実施者 [氏名] | 協働実施者 [所属・役職] |
|--|---------------|--|---------------|--|
| 障害情報の電子化による 次世代地域・福祉サービス連携の創出 | 巖淵 守 | 早稲田大学 人間科学学術院 教授 | 本橋 栄三 | 社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会 会長 |
| 水素技術を活用し、 住民参画を目指したクリーンエネルギー プロシューマーモデルの開発 | 牛房 義明 | 北九州市立大学 経済学部 教授 | 栗原 健太郎 | 北九州市 環境局 環境経済部 温暖化対策 課長 |
| 包括的な災害リスクのプロアクティブ アラートに基づくインクルーシブ防災の実現 | 小野 裕一 | 東北大学 災害科学国際研究所 社会連携オフィス 教授 | 橋本 尚志 | 株式会社富士通総研 コンサルティング本部 行政情報化グループ グループ長 |
| 性暴力撲滅に向けた早期介入とPTSD予防の ための人材育成と社会システムづくり | 長江 美代子 | 日本福祉大学 看護学部 教授 | 片岡 笑美子 | 一般社団法人 日本フォレンジック ヒューマンケアセンター 会長 |
| 誰一人として水に困らない社会へ： 小規模分散型の水供給・処理サービスの開発・ 可能性検証 | 西田 継 | 山梨大学 大学院総合研究部 附属 国際流域環境研究 センター センター長 | 杉野 栄 | 甲州市 上下水道課 課長 |
| 「住み続けたい」を支える離島・ へき地医療サポートモデルの構築 | 前田 隆浩 | 長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 | 川上 敏宏 | 五島市 国保健康政策課 課長 |
| 共創的支援を促進する視覚障害者のための 3D造形物配信・出力エコシステムの構築 | 南谷 和範 | 独立行政法人 大学入試センター 研究開発部 准教授 | 渡辺 哲也 | 新潟大学 工学部 教授 |



ソリューション創出フェーズ



| プロジェクト名 | 研究代表者 [氏名] | 研究代表者[所属・役職] | 協働実施者 [氏名] | 協働実施者 [所属・役職] |
|--|---------------|------------------------------------|---------------|------------------------------|
| 福祉専門職と共に進める 「誰一人取り残さない防災」の全国展開の ための基盤技術の開発 | 立木 茂雄 | 同志社大学 社会学部 教授 | 村野 淳子 | 別府市 共創戦略室 防災危機管理課 防災推進専門員 |
| 新生児のための診療支援システムの拡充を 通じた重症化予防プロジェクト | 北東 功 | 聖マリアンナ医科大学 小児科学教室 新生児分野 病院教授 | 矢作 尚久 | 慶應義塾大学 SFC 研究所 副所長 准教授 |
| 亜熱帯島嶼の持続可能な水資源利用に向けた 参画・合意に基づく流域ガバナンスの構築 | 安元 純 | 琉球大学 農学部 地域農業工学科 助教 | 金城 進 | 八重瀬町 経済建設部 部長 |

令和3年3月現在 (研究代表者名五十音順)

SOLVE for SDGs

Solution-Driven Co-creative R&D Program for SDGs